日刊 動労千葉

84. 8. 6

No. 1709

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一―八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

臨調・行革粉砕！　三里塚ジェット闘争勝利！

全支部臨戦体制を確立し、成田用水8月着工阻止へ

話し合い"＝裏切りに走る脱落派を粉砕し、夏～秋決戦に総決起しよう

成田用水着工攻撃は日一日激化している。おいつめられた政府・空港公団は、八月中にも本着工を強行する動向にある。こうしたなかで反対同盟は、去る三・二五の全国集会を圧倒的にかちとり、以降四―五―六―七月と連日の闘いに決起し、二期着工への突破口としてある用水着工攻撃を実力決起で阻止し、今日に至るもく・い・一本うたせないという勝利をかちとってきている。わが動労千葉は、こうした現地臨戦体制の闘いに共に決起することをすでに第九回臨時委員会（六月十二日）で方針を決定し、とりくんできた。

いまわれわれは、敵があらゆる手段、とりわけ権力・機動隊を前面におしたてて襲いかかってきている現地で、真向から対決し実力阻止闘争をたたかいぬいている反対同盟をなんとしても守りぬき、共に闘いぬかなければならない。

公団と脱落派が「用水」・「二期」で話し合い＝ゆ着

八月一日、衆議院・運輸委員会で、公明党の森田某による「空港公団は『二期早期着工』をくりかえしているが、二期工事用地内の十二戸の反対派農民と会ったことがあるのか」という質問に対し、松本（公団副総裁）は、「具体的に名前は言えないが、何人かとお会いしている」と公式に、重大な発言をおこなった。

つづいて三日、成田用水工事着工を阻まれ、あせりにあせっている水野（建設大臣）を先頭とする成田用水（芝山町・菱田地区）推進派は、用水工区の早期完成と、反対同盟にたいする自主耕作地からの強制排除も含め、許せぬことに、用水施設・工事にたいする全面的警備強化を求め、運輸省・県・県警などに要請を行った。

「用水」と「騒特法」攻撃は二期そのものだ

これらの動向は、敵側のあせりにかられた策動であり、空港の見返りとしてある「農振策」とは名ばかりで、明確に二期着工へのなりふりかまわぬエスカレートである。とどのつまりは「用水」をつくる名目で、一戸あたり一〇〇〇万円という高額補助金で、農民を条件派に買収しようというものであり、つぎに「農振策」がいかにペテンであるかは「騒特法」攻撃にはっきりとあらわれている。"空港と共存"なる「農振策」、一方での「騒特法」攻撃、つまり、現在かけられている成田用水攻撃（芝山・菱田地区）は、二期B滑走路南端地域にあたり、用水の早期完成を叫びながら一方では二期工事へむけて「騒特法」による、防音対策費として一戸あたり一〇〇〇万円の補助金（一期工事でほぼ防音工事はやっていない）これまた買収金ということは明らか、これに加えて、「騒音区域」を規定外（80WK以上＝うるさい指数）に一方的に指定できる菱田地区の廃村化攻撃である。

8月「用水」粉砕→10・10空前の大決起で二期着工を実力阻止しよう

これらの狙いは、結局、二期着工のための反対同盟農民つぶし以外のなにものでもないことが明白である。ともあれ、なりふりかまわず、手段を選ばず用水攻撃をかけてくる全ての反動を実力で粉砕し、今秋二期決戦へむかって勝利的前進をかちとっている反対同盟農民と共に決起し闘おうではないか。

8/2 朝日
反対派農民と接触
空港公団 松本副総裁 衆院委で認める

脱落派の"話し合い"＝「用水」「二期」うけ入れの裏切りを粉砕して、反対同盟と支援は、7～8月連日臨戦体制で敵の攻撃を実力阻止し、闘っている。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！